

とまち・市民「環境交流会」

取り組みの概要

環境の諸分野をテーマに地域で活動する市民団体、学生、企業及び行政が、日頃の活動成果の報告や新工ネ・省工ネ機器等の展示、環境啓発などを行い、環境保全という共通の課題に対する認識を新たに、幅広い市民参加に繋げていくことを目的としています。

企画段階から市民のアイデアにより手作りで運営する交流会を実現しています。

協働の きっかけ

環境保全活動分野で、異なる立場・理念を持つ人たちが共に同じ目標を持って活動する組織である「帯広市環境保全推進会議」の発案により発展してきた事業です。

環境課



子ども（小中高生）、 市民・環境団体、企業、行政

・行政ならではの情報収集・発信力

強み

・市民参加の広がり和个人の自発的活動の出発点とする

・実行委員会事務局
・団体間のネットワークを深める

役割

・世代や立場の違いを越え、地域の環境課題や環境活動の現状を共有する

協働の 成果

推進会議の設立当初は、この会議の存在意義や環境交流会の目的について活発な議論のやり取りがありました。現在は市民協働の実験的な取り組みという意識の中で、会員自身が市民への広がり念頭に、各自のアイデアを出しながら自立の道を探ろうという発想になってきています。

協働のポイント

自主財源の確保と事務局の所在をどうするかが課題です。

【計画段階】

・企画は、帯広市環境保全推進会議で数回の協議を経て決定。
・予算の制限はあるが、推進会議内で合意されたことがそのまま事業実施に反映される。

【準備・運営段階】

・準備では行政と推進会議メンバーが中心だが、PRIは、市民団体等のネットワークが大きな力となる。開催経費は行政負担であるが、推進会議のメンバーはボランティア(無報酬)で、参加費用は全て参加者負担。当日の運営は、推進会議内で役割分担をするほか、参加者も加わる。



【評価・見直し】

・開催後は反省会を開催するなど、改善の視点を持って取り組んでいる。